学校番号	２０５

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ｃ　（新興出版社啓林館）						
副教材等	マスグレードα　数学 B+C　（啓林館） 黄チャート　数学Ⅱ+B+C[ベクトル]　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考えたり、周りの人と協働して考えたりする活動を行います。
・「『課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決』の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・授業用ノート・問題集用ノート・参考書用ノートをそれぞれ別に用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。問題を解く力を養うには、「自分で考える時間をなるべく多くする」ことと、「自分の答案を振り返る」ことが大切です。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

【知識・技能】ベクトルについての基本的な概念を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】ベクトルについて論理的、数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトルの基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	平面上のベクトルとその演算	平面上のベクトル ベクトルの和・差・実数倍 ベクトルの成分 ベクトルの内積 三角形の面積	a：ベクトルの定義や表し方を理解して,計算ができ，条件より求めたいベクトルがわかる。成分表示も理解している。内積やなす角を求めることができる。 b：色々な定義を理解し，それらを組み合わせたベクトルを図示できる。点の座標とベクトルの成分の関係を問題に活用できる。 c：日常の量で，向きと大きさをもつものがあることに興味をもち,それをベクトルで表現しようとする。	定期考査	定期考査	観察 レポート 考査やり直し 小テスト
	ベクトルと平面図形	位置ベクトル 位置ベクトルと図形 ベクトル方程式	a：位置ベクトルで，ベクトル，内分点，外分点などを表せる。直線や円のベクトル方程式がわかる。 b：位置ベクトルを活用して，図形の性質が考察できる。位置ベクトルの一意性を活用して,線分の交点の位置ベクトルを求めることができる。 c：重心を位置ベクトルで表す過程いろいろなところで活用できることに気付き興味をもつ。また，図形のベクトル方程式について，点の座標（x，y） についての方程式と関連させて考察し，点の存在範囲を見出そうとする。	定期考査	定期考査	観察 レポート 考査やり直し 小テスト

2 学 期	空間のベクトル	空間の点の座標 空間のベクトル 空間のベクトルの内積 3 点を通る平面上の点 平面の方程式 直線の方程式	a: 平面上のベクトルについての種々の定義や性質などは,空間においても同様に成り立つことを理解している。空間図形の中で, 点と点との距離, 条件より求めるベクトルがわかったり, 分解できたりできる。また, 成分で表せ演算できる。内積, なす角を求めることができる。位置ベクトルで表せ, ベクトル方程式も理解している。 b: 空間における点の表し方を理解している。位置ベクトルを活用して, 空間の 3 点が一直線上にあることを証明できる。また, 条件より平面や球面の方程式を求めることができる。 c: 平面上のベクトルの性質などが空間でも成り立つことから,ベクトルの定義が次元によらないことに興味をもつ。様々な空間図形の考察にベクトルを活用しようとする。	定期 考査	定期 考査	観察 レポート 考査やり直し 小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度